

●受託（民間）、一般共同

やまのいも新品种「十勝3号」

平成15～22年（7年間）

十勝農業試験場 研究部 地域技術グループ、十勝農業協同組合連合会、帯広市川西農業協同組合、音更町農業協同組合

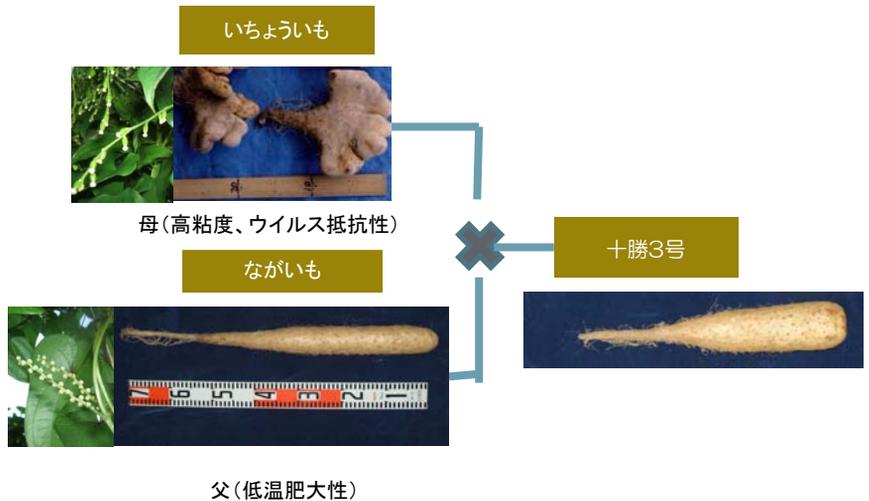
Abstract 概要

やまのいも新品种「十勝3号」は、北海道で栽培されているながいもに比べ、重要病害であるヤマノイモエソモザイク病に強く、いもの形状は短根で、粘度が高く内部品質が優れていることから、新たな地域ブランドの品目として期待されます。

Results 成果

1 来歴

やまのいも新品种「十勝3号」はねばりが強く、ウィルス病に強い「いちょういも」を母親に、低温でも大きくなるながいもを父親に人工交配し、育成しました。



2 形状

いもの形状は一般的なながいもの“長紡錘型”に対し、短くやや太い“紡錘型”です。いもの全長は10cm程度短く、いも径は2cm程度太くなります。



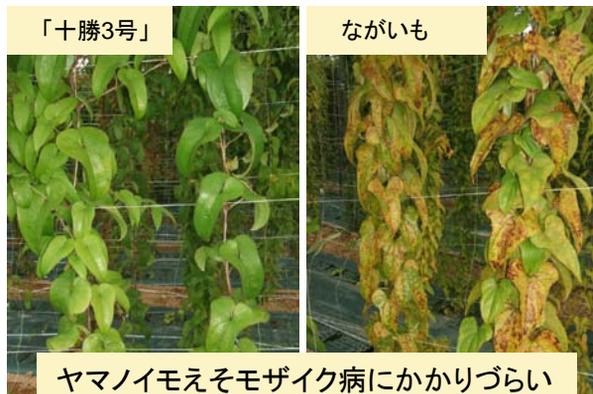
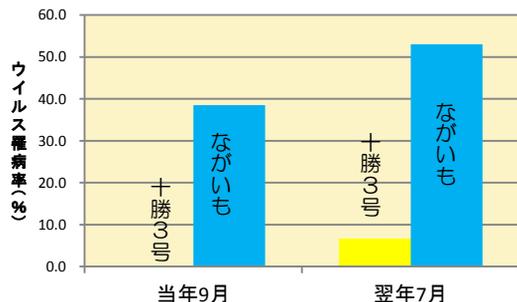
葉の形状
左:ながいも、右:十勝3号



いもの形状
上:十勝3号、下:ながいも

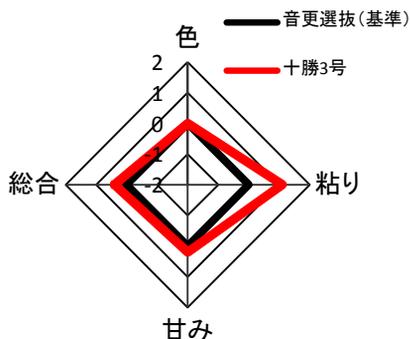
Results 成果

3 ウィルス病抵抗性



北海道での重要病害のヤマノイモえそモザイク病に対する抵抗性が強く、罹りにくいです。本病害はアブラムシによって伝搬され、一度感染すると種いもで増えるため、種いも圃場での抜き取りに大変な労力がかかります。罹病が少ないため抜き取り作業が軽減できます。

4 品質



とろろの粘度
左:「十勝3号」,右:ながいも

いもの乾物率は5ポイント高く、ねばりが強いのが特徴です。すりおろしたとろろの食味は、ねばりが強いので、食味評価は良好で、加工適性は優れます。

Activities 業績

【研究成果入手先】

道総研農業研究本部の「農業技術情報広場」で、本成果に関する概要(pdf)を公開。

<http://www.agri.hro.or.jp/center/kenkyuseika/iipan23.html>

北海道農業研究センターのHPで「平成22年度北海道農業研究成果情報」の項に掲載されています。

Dissemination 普及

- 開発した技術は、平成22年度十勝圏農業新技術セミナー(H23.2.24)で発表(口頭、ポスター、要旨集)しました。
- 本品種は現在、栽培法や新用途の検討を進めるとともに種苗を増殖中です。店頭デビューまでしばらくお待ちください。

Contact 問い合わせ

農業研究本部 十勝農業試験場

研究部 地域技術グループ

【電話】 0155-62-9825

【メール】 tokachi-agri@hro.or.jp

【ウェブ】 <http://www.agri.hro.or.jp/tokachi>